

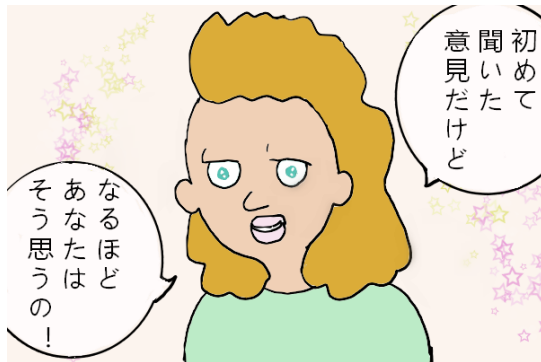
一歩

高校進学 参考資料

校内には、高校について知ることのできる資料が置かれていたり、案内ポスターが掲示されています。

玄関から教室棟へ進むと廊下左手にあるスチールロッカーの上には、高校が作成した報告冊子なども置いてあります。いくつか紹介します。

一つ目は、新潟高校の理数科の課題研究論文・夏季研修レポート集です。理数科が2学級募集となり、メディカルコースとサイエンスコースの設置になりました。メディカルコースでは、医療講演会や病院見学で学習し、さらに各自が資料を調べたりしています。また、コースの生徒全体でお互いの興味・関心や到達点を確認し合うため、個人で作った課題研究をまとめ、「課題研究集録」を作成しています。理数科では、「課題研究」が授業の必修科目になったため、グループで課題を設定し、課題に取り組んできたものを課題研究発表会や紙面発表としてきています。今述べたことは、冊子を読むことで把握できます。



二つめは、新潟明訓高校の「アメリカ研修報告書」です。アメリカ研修に参加した1年生の参加後の感想や思いがまとめてあります。内容は、マサチューセッツ工科大学(MIT)に訪問し懇談会を実施したり、ハーバード大学の見学や懇談、ボストンで起業している日本人起業家と会ったりしています。参加した高校生は、現地に行くまでは見学・訪問で知識を増やす程度の気持ちだが、参加経験を通して自分の見方・考え方が大きく変化し、自分の不足している今後の成長すべきことに気づき、それを書いている生徒が多くいました。

これも新潟明訓高校ですが、「しんろ」という名の進学先、合格体験記録集を毎年発行しています。どの大学・学科に何人進学したかはもちろん、明訓高校の進路実現のためのどのような取り組みを学校で行っているかが書かれています。明訓高校を受験対象として考えている生徒には、入学前に見ておいてほしい内容です。



高校について知るには「体験入学」は非常に有効な方法です。

体験入学では、高校の先生が中学生に向けて、わかりやすくその高校について説明してくれます。説明を見聞きするだけでも、その高校についてわかることが多くあるでしょうが、体験入学の一番のよいところは、高校に行くことにより、肌でその高校の雰囲気を感じ取れることです。校舎一つ見ても中学生のみなさんにとっては、高校には中学校にはないこんなものがあるのかと気づいたり、活動している高校生の活気が感じ取ることができます。

また、高校の校舎を見ると、高校の実績をアピールする垂れ幕が掛けられていたりします。垂れ幕には、進学先や部活動の大会成績が書かれています。「〇〇大学▲名」と大学進学実績が書かれていたり、「インターハイ 〇〇部出場」「インターハイ 〇〇部 ▲▲さん 優勝」と部活動の大会成績などが掲げられています。インターハイは、高校運動部活動の全国大会の名称です。その高校ががんばって全国大会に出場した、優秀な成績をあげた部活動やその選手個人名を掲げています。



「百聞は一見にしかず」です。多くの3年生が体験入学を希望していますが、まだ1校も申込みをしていない生徒は、ぜひ真剣に考え、体験入学に参加してください。中学校卒業後の3年間を過ごし、もしかしたらあなたの将来を左右する高校3年間かもしれません。その高校選びを体験入学等でじっくり見て、よく考えてください。

